



シート番号	1203-01	名 称	名号塔
分 類	経典供養塔	場 所	坂田 寺家坂地先君高入口
小 分 類	読誦塔	メッシュ番号	1522
年 号	和暦：宝暦5年11月吉日 西暦：1755年		
形 状	角柱型		
サ イ ズ	72×29×16 c m		
画 像 番 号	1203-01-01 (正面)	1203-01-02 (右側面)	
	 <p>六十万人決定往生 南無阿弥陀佛 南都一丈院宮末院 山崎法雲院 法縁 (花押) 村中孫子延長祈所</p>	 <p>宝暦五乙亥天十一月吉日</p>	
<p>コメント；※ 名号「南無阿弥陀佛」について 一遍上人が開いた念仏宗(時宗：浄土宗)で、信仰する仏は阿弥陀如来、とくに「南無阿弥陀仏」の名号を本尊とします。お念仏を唱えれば、阿弥陀仏の本願の舟に乗じて極楽浄土に往生できるといわれます。お札には「南無阿弥陀仏決定往生六十万人」と刷り込まれていて、六十万人の人々にお札を配ることを願われ、また次の六十万人の人たちについては総ての人々(一切衆生)に配ることを念願します。</p> <p>※ 南都一丈院宮末院 山崎法雲院との関係について 村中孫子延長祈所がここにあり、「法縁」という遊行上人がこの地を訪れた時に、御賦算(決定往生六十万人)が達成されたことを記念して建てられた名号塔ではないかと推察されます。</p>			